

**製品名: LEF1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01396**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 25-58 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LEF1
別名	LEF1; Lymphoid enhancer-binding factor 1; LEF-1; T cell-specific transcription factor 1-alpha; TCF1-alpha
遺伝子 ID	51176
SwissProt ID	Q9UJU2
免疫原	ヒト LEF1 の合成ペプチド

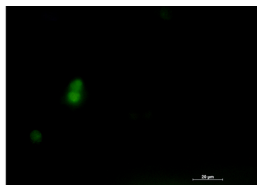
**背景**

Wnt シグナル伝達経路に関与する。CTNNB1 および EP300 の存在下で標的遺伝子の転写を活性化する。毛細胞の分化および毛包の形態形成に関与する可能性がある。TLE1、TLE2、TLE3、および TLE4 は、LEF1 および CTNNB1 を介した転写活性化を抑制する。T 細胞受容体  $\alpha$  エンハンサーの機能を調節する。DNA に配列特異的に結合する。PIAG は、LEF1 による Wnt 依存性および Wnt 非依存性の活性化の両方に拮抗する（類似性による）。

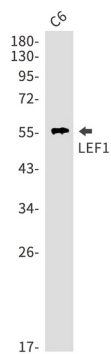
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

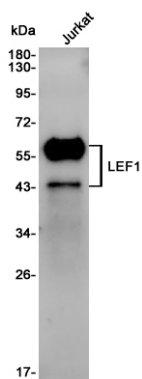
## 画像データ



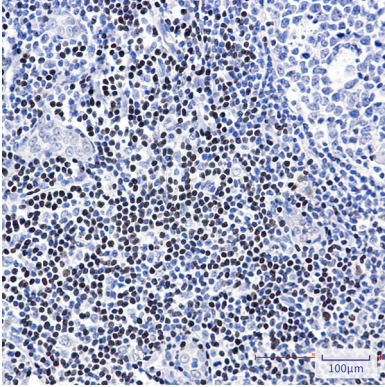
LEF1 抗体と DAPI (青) を使用した、Jurkat における LEF1 (緑) の免疫細胞化学分析。



LEF1 抗体を使用した C6 溶解物中の LEF1 のウェスタン ブロット分析。



LEF1 抗体を用いた Jurkat 溶解物中の LEF1 のウェスタンブロット分析



LEF1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。